

つばめ通信

『山中湖中学校だより』 平成26年度
平成26年11月4日発行 第13号

11月

裏山(富士山)もすっかり雪化粧し、山中湖本来の様相を示す霜月・11月を迎えました。

11月は、一年のうちで最も変化のある月です。空高く秋晴れの好天が続いていたかと思うと、やがて朝晩の気温がぐっと下がり、辺りの木々が華やかな黄葉や紅葉の色彩りを濃くしていきます。そしていつしか落葉が舞い、初雪の便りも聞かれ、本格的な冬の到来が近いことを知らせます。一カ月の間に、これだけの変化を見せる月は、そうそうないと思います。

そんな「変化」がキーワードとなる11月。子どもたちにも、その波に乗ってほしいと感じる部分がいくつかあります。それは…、勉強に向かう姿勢であったり、生活態度であったり、生活習慣であったり…と個人や全体、そして学年などによって様々ですが、その鍵は一点…一人一人の「自覚」です。いつも「今の自分は、このままでいいのか?」という意識をもって、ほんの少しでも自分を高めていく努力を積み重ねていくこと、これに尽きると考えます。

ガラッと変わるなど到底無理なことですが、季節の流れに心を浸らせることも、時に必要なことである気がします。

英語暗唱大会 Hello

10月31日(金)、南都留地区

すべての中学校の代表が都留市のピュア富士に集い、「英語暗唱大会」が開催されました。本校からは、3年生の天野まみさんと2年生の大森茂樹くんの2名が学校代表として出場。

共に入賞することはできませんでしたが、山中湖中の代表として、堂々としたスピーチを披露してくれました。立派な発表に拍手を贈ります。



第62回 山中湖畔一周マラソン大会

山中湖中学校

60年以上の歴史を誇る山中湖中伝統のマラソン大会…。抜けるような秋晴れの青空のもと、紅葉に彩られる山中湖畔を一周する全長14.4kmのコースで、今年も子どもたちの熱い走りが繰り広げられました。

大会開会式には高村村長様を始めたくさんのご来賓の方々にお臨席をいただいたり、沿道では、大勢の保護者や地域のみなさん、さらには観光客の方々からも

応援をいただいたりと…本当に有り難い限りです。

走り終わった子どもたちは、口々に「沿道の応援で力が湧いた」とか、「保育園児からの声援やハイタッチがすごく嬉しかった」と、息を弾ませて話していました。その顔は、やり遂げた喜びと満足感に溢れていました。



【男子入賞者】

順位	学級	名前
1位	2A	日下部 隼人 (5'9" 4'7")
2位	1B	羽田 優祈
3位	1B	佐藤 聡太
4位	1A	梶浦 元貴
5位	1A	槌屋 光太郎
6位	1B	赤田 隼汰
7位	2A	長田 徳宗
8位	1A	羽田 陸馬
9位	1B	片山 凌
10位	3A	高村 大夢

【女子入賞者】

順位	学級	名前
1位	2A	金谷 茉奈 (1°13'01")
2位	1A	杉浦 優香
3位	2B	羽田 朱里
4位	2B	石橋 舞衣
5位	2B	天野 まりも
6位	3B	長田 奈菜
7位	3A	天野 沙耶
8位	1B	長田 凜
9位	1A	長田 諭美
10位	3A	千葉 暁絵



読書週間 (10/27~11/9)

読書週間を前に、少しでも子どもたちの読への興味付けになれば…という思いで、10月21日から3日間、各クラスの朝読書の時間を活用して、全教職員による読み聞かせを行いました。

教科指導の垣根を乗り越えた読み聞かせは、子どもたちにとって興味深く新鮮で、刺激あるものになったのではないかと思います。個人的にも、教室に入ってから読み聞かせは、楽しい時間になりました。ご家庭でも、灯火親しむ秋の夜、親子一緒に読書にふける時間をつくってみてください。



なお、この読書期間中の11月4日には、毎年お世話になっている女優の坪井美香さんにご来校いただき、本格的な読み聞かせ、朗読指導をいただける予定です。

こうした取り組みを契機に、『読書週間』が『読書習慣』になってくれることを願っています。

第3回『生きざま講座』

世界のトップに触れる



2年生のキャリア教育の一環として行っている『生きざま講座』ですが、今回は1年生も加わった特別講座となりました。今回の講師には、プロ・ウェイクボーダーとして世界のトップで活躍中の手塚翔太選手をお招きしました。

講話では、夢を追い続けること、良きライバルをもつこと、人の10倍も20倍も努力すること…などなど、自身の経験をもとに夢と希望に打ち満ちたお話をいただきました。

子どもたちにとって、とてもインパクトの強い、若く躍動的な『生きざま』に触れる機会となりました。

